

地域に残る歌舞伎舞台で地域住民参加型創作演劇「アマンジャクの夢」を公演

美咲芸術世界実行委員会

活動の目的

美咲町大井和地域に伝わる昔話「アマンジャクの星とり」を題材として地域住民参加型の演劇をつくり、地域内で公演することが主な目的。使われずに放置されている旧大井和小学校や神社の歌舞伎舞台などを有効活用し、昔話演劇の創作を行うことで、地域間の交流を促し、それぞれの役割を演じることで地域住民の自信と誇りを取り戻すことがねらい。

活動の内容及び経過

地域住民参加型の創作演劇「アマンジャクの夢」を地域に残る歌舞伎舞台で公演した。（公演日は9月23日）（来場者500名）

演劇ワークショップを旧大井和小学校他で8月12日以降随時開催。大西千夏（演劇）、奥平真平（音楽）、小山麻衣子（ダンス）、三宅典子（衣装）、楽画鬼（美術）、岩本雄基（仮面）、柴田あゆみ（切り絵）の7名の舞台アーティストのもとで、地域住民や子どもたち、ボランティア学生などがワークショップにより舞台の制作・準備を行った。（参加者延べ100名）

この舞台演劇は美咲町芸術祭「美咲芸術世界2017」（会期は9月23日～10月29日）のメインプログラムとして地域に残る一宮八幡神社の歌舞伎舞台で公演した。舞台美術は、公演終了後、そのまま一宮八幡神社とキッサコで展示した。

活動の成果・効果

芸術祭初日のオープニングイベントにおける舞台演劇「アマンジャクの夢」は予想以上の反響があり、多くの賛辞をいただいた。前年度のオープニングイベントに比べ倍以上の来場者数を得て大きな成果となった。各種の演劇ワークショップを実施したことにより、地域住民と芸術家、子供と高齢者などのコミュニケーションも活性化し、創作や発表に関わることで日常的に芸術文化に触れられるような雰囲気もできあがり、地域住民が楽しむことのできる新しい集いの場を「舞台」という形を取って実践することができた。舞台公演本番の一体感は感動的ともいえるものであり、これからの新しい地域づくりという観点からみれば地域にとって必要な経験であったともいえる。この達成感と感動は地域住民の自信と誇りを目覚めさせる、ひとつの契機となるにちがいない。このようにして地域力を育ててゆくことができれば、地域文化の継承や地域資源の保全などにおいて貢献してゆくことになるであろう。



今後の課題と問題点

2年間、大井和地区を中心に実施したが、地域内で事業に対する認知度・理解度はまだ十分とは言えず、地域により親しまれる事業となるような対策が必要であり、そのことは本芸術祭を継続事業として充実したものにしていこうと重要課題といえる。地元住民、特に高齢者の積極的な事業参加を促すにはどうしたらよいか、本事業を持続可能なものにしてゆくには今後どのような対策をとるべきか、より多くの地元住民を巻き込んで考えてゆかなければならない。事業の企画から実施にいたるまで、地元住民のより多くの協力を得て、そのなかで役割分担をし、ひとつの目標に向かって事業を達成することが必要である。今回の舞台演劇「アマンジャクの夢」の実現を果たしたことが、その契機となってゆくような事業展開をみせればそれが課題解決となってゆくかもしれない。みんなでつくる美咲芸術世界の実践を少しずつ、着実に成し遂げることができれば、それ自体が価値のある新しい地域づくりの基礎となり、そのような取り組みこそが地域にとって必要な、みんなが集う新しい場の形成を実現することになり得る。

- 代表者：板垣正寿 ●所在地：久米郡美咲町大井和西
- TEL：0868-68-0055 ●E-MAIL：dojokissako@gmail.com
- URL：https://www.facebook.com/misakiartworld/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：10名